

あなたは**子宮頸がんの疑いがある**と判定されました

細胞診検査において、**がんの可能性のある異常**が認められました

女性がかかるがんのうち

**5番目に多いのが子宮がん**です<sup>※1</sup>

まだ若いからがんにはならないと思いませんか！

子宮頸がんは、20歳代後半から増え、40歳代で最も多くなります。

部位別がん罹患数

女性(2023年)

第1位 乳がん

第2位 大腸がん

第3位 肺がん

第4位 胃がん

第5位 **子宮がん**<sup>※1</sup>

資料：全国がん登録



早期発見<sup>※2</sup>すれば**9割以上**が治ります<sup>※3</sup><sup>※4</sup>

※1：子宮がんとは、子宮頸部と子宮体部のがんを示します。

※2：ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～Ⅳ期に区分した病期分類（TNM分類）におけるⅠ期を意味します。

（Ⅳ期に近いほどがんが進行している状態）

※3：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル（純生存率）は94.9%。

※4：ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。



**速やかに、精密検査を受けてください**

精密検査を受ける医療機関については、がん検診を受けた医療機関や市町村にお問い合わせください。

お問合せ先

SAMPLE